

中野市国民健康保険事業の運営に関する協議会 会議録（要約）

日 時	令和5年8月24日（木） 13：30～14：30
会 場	中野市役所4階 会議室42、43号
出席者	<p>【委員】 酒井委員、浜中委員、池田委員、北村委員、飯田委員、畔上委員、夏目委員 矢野委員、阿部委員、高野委員、出川委員、桑原委員、増田委員、品田委員</p> <p>【市（事務局）】 くらしと文化部長、市民課長、国保年金係員、高齢者支援課介護予防包括支援係員 健康づくり課健康管理係員</p>
欠席者	<p>【委員】 宮澤委員、熊木委員</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会長の選出について (2) 中野市国民健康保険事業の運営状況について (3) 中野市国民健康保険事業の保健事業実施状況について (4) 令和4年度中野市国民健康保険事業特別会計決算について (5) 中野市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について (6) 中野市データヘルス計画について (7) その他 5 その他 6 閉会
資料	資料1 中野市国民健康保険事業の運営状況について 資料2 中野市国民健康保険事業の保健事業実施状況について 資料3 令和4年度中野市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について 資料4 中野市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について 資料5 中野市データヘルス計画について 資料6 新型コロナウイルス感染症への対応について

1 開会

(市民課長)

2 あいさつ

(くらしと文化部長)

3 自己紹介

4 協議事項

(1) 会長の選出について

会長を酒井委員に決定される。

(2) 中野市国民健康保険事業の運営状況について

【事務局】

(資料1を説明)

【委員】

中野市は市民一人当たりの医療費が19市のなかでも低い方だが、メタボの方も、医療費の減に合わせて、減ってきているのか。

【事務局】

令和3年度の実績では長野県全体ではメタボと診断された方の割合が19.2%であり、高いところで21%ほど、低いところで16%ほどというところなので、中野市は中間から低いところにいる状況となっている。

ただ、特定健診の受診率が低く、メタボと診断された方の割合は健診を受診した結果となっているので、状況をしっかり把握するためにも、受診率の向上に力を注いでいるところである。

【委員】

基金の残高について、一人当たりの保有状況は19市平均に比べ少ないということだが、今後の積み立ての考え方を教えていただきたい。

【事務局】

昨年度の積み立ては9,800万ということで、基金の残高自体は、一人当たりの残高19市中15位で決して高いほうではありません。

基本的には給付費は県から賄われるが、不測の事態で税収等が予定より少なくなった場合、基金で賄うことも想定される。健全な運営をしていくために、どの市町村でも基金を保有している。私どもも引き続き健全な運営のため、つなげていきたいと思っております。

【委員】

被保険者数の推移のところで、加入率がどうして下がっていくのか、また分析されていれば教えていただきたい。

【事務局】

現役世代の方は、社会保険、国保以外のところに入っている方が多くなっていると思われる。

年代的に前期高齢者だった方が、後期高齢者に移るという傾向で少しずつ国保世帯が減っていると分析しております。

(3) 中野市国民健康保険事業の保健事業実施状況について

【事務局】

(資料2を説明)

【委員】

特になし

(4) 令和4年度中野市国民健康保険事業特別会計決算について

【事務局】

(資料3を説明)

【委員】

収入の諸収入の延滞金及び過料が前年に比べ伸びている理由は。

【事務局】

4,400件の延滞金の徴収が大きな理由です。

(5) 中野市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について

【事務局】

(資料4を説明)

【委員】

特になし

(6) 中野市データヘルス計画について

【事務局】

(資料5を説明)

【委員】

この計画案は、来年2月に開かれる国保運営協議会に計画案として示されることでいいのか、骨子があがってきて、11月ごろ素案の段階で説明があるのか。

【事務局】

計画の素案ができた段階で県等にご意見をいただき、最終的な案を2月の国保運営協議会でお示しできればと考えております。

(7) その他

【事務局】

(資料6を説明)

【委員】

特になし

5 その他

【委員】

来年の秋に紙の保険証が廃止されることに不安を感じている。

高齢者の見守り、訪問をしているが、耳がとおく電話も難しい、タクシー券も少なくなり役場に行くことも考えてしまう、そういった高齢者の方に書類を作ったり、マイナンバーカードを作る、管理するのは非常に難しい。

そういうことで病気が重篤化する高齢者もでてくるのではないか。現行の紙の保険証でうまくいっているので、続けてほしい気持ちが要望としてあります。

【事務局】

そういった報道があるが、国からの明確な情報がなく、見守っている状況であります。不安を感じていることもお聞きしておりますので、不安のないような形をできるだけとれるよう努力して参りたいと思います。また、市民課としましては窓口係でマイナンバーの申請・交付業務を行っておりますが、マイナンバーカードの取得に関しても、こちらから出向き取得できる機会を多く作り、正確な情報をお伝えしマイナンバーカードを取得しやすい体制を整えていきたいと思っております。

【委員】

実際、医療機関でマイナンバーカードの顔認証ができない時があるのだが、医療機関の方で教えていただきたい。

【委員】

ある程度、枠の中に入るような形の位置ならば眼鏡、マスクをしていても読み込むことはできる。距離なのだと思います。

【事務局】

顔認証のパンフレットなど、積極的に広報していきたいと思っております。

7 閉会

終了 14時30分